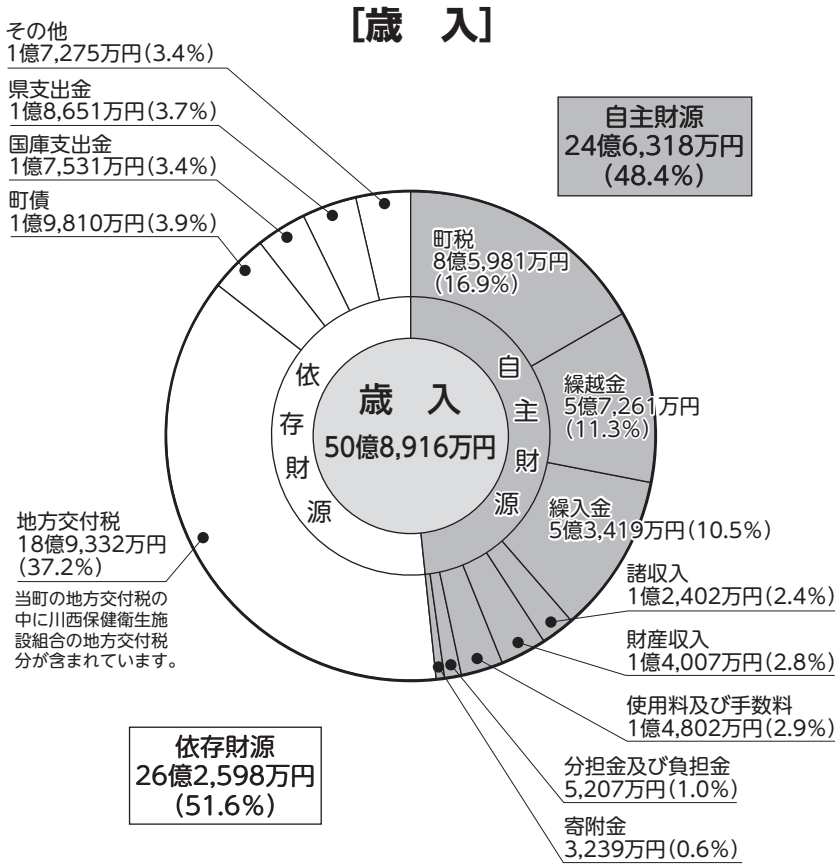


一般会計 歳入総額 50億8,916万円



財政係・税務係

平成  
25年度

決算

の概要

平成26年第3回立科町議会定例会において、平成25年度の決算が認定されました。「町の財政がどのような状況にあるのか」を町民の皆さんにお知らせするため、歳入及び歳出の概要や、財産や借入金状況などを公表します。

※文・表中の金額は一万円未満を、比率は小数点以下第二位を四捨五入しています。そのため、合計などが一致しない場合があります。

一般会計決算の概要

一般会計決算は、福祉施設整備基金の処分、ハートフルケアたてしな事業会計の廃止による繰入金増加などにより、歳入が50億8,916万円（前年度比4.8%）、統合保育園建設事業の完了による普通建設事業費の減少により、歳出が41億7,073万円（前年度比△2.7%）となりました。

歳入額から歳出額を差し引いた形式収支は、9億1,842万円。このうち、平成26年度に繰り越した事業に充てるための財源2,597万円を除いた8億9,245万円が、実質収支額となりました。

歳入歳出の構成比

●歳入

町税、使用料及び手数料など町独自で得ることのできる自主財源は24億6,318万円（48.4%）で、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が26億2,598万円（51.6%）となっています。自主財源は福祉施設整備基金・ハートフルケアたてしな事業会計からの繰入金、ふるさと寄附金などの増により増加しました。

一方、依存財源は地方交付税が増加したものの、県支出金や町債の減により減少しました。

●歳出

人件費・公債費・扶助費の義務的経費が13億4,420万円（32.2%）で普通建設事業費などの投資的経費が3億9,735万円（9.5%）、物件費・補助費等・繰出金などのその他の経費が24億2,918万円（58.3%）となっています。義務的経費では給与削減及び職員数の減による人件費の減少、投資的経費では統合保育園建設事業の完了などによる普通建設事業費の減少、その他の経費ではハートフルケアたてしなへの補助金交付などによる補助費等の増加がありました。

まとめ

歳出は地理空間情報活用推進事業業務委託による物件費の増、ハートフルケアたてしなや佐久医療センター施設等整備事業に対する補助費の増などにより、その他の経費の比率が高くなりました。歳入の増は福祉施設整備基金の処分（3億1,029万円）、ハートフルケアたてしな事業会計の廃止（2億1,002万円）による繰入金増加によるもので、自主財源（のうち、町税や使用料、財産収入など）は少なく依存財源に頼らざるを得ない状況であり、さらなる経費の節減や効率的な予算執行を進める必要があります。